

調査位置案内図(=1:25,000)



年度	平成	年度
工事名		
路線名	竜ヶ平線(1工区)	
施工箇所	弘前市大字相馬字竜ヶ平地内	
図面名称	1工区平面図	
縮尺	各図記入	
図面番号	葉	番

弘前市建設部建設政策課

1工区平面図

S=1:250

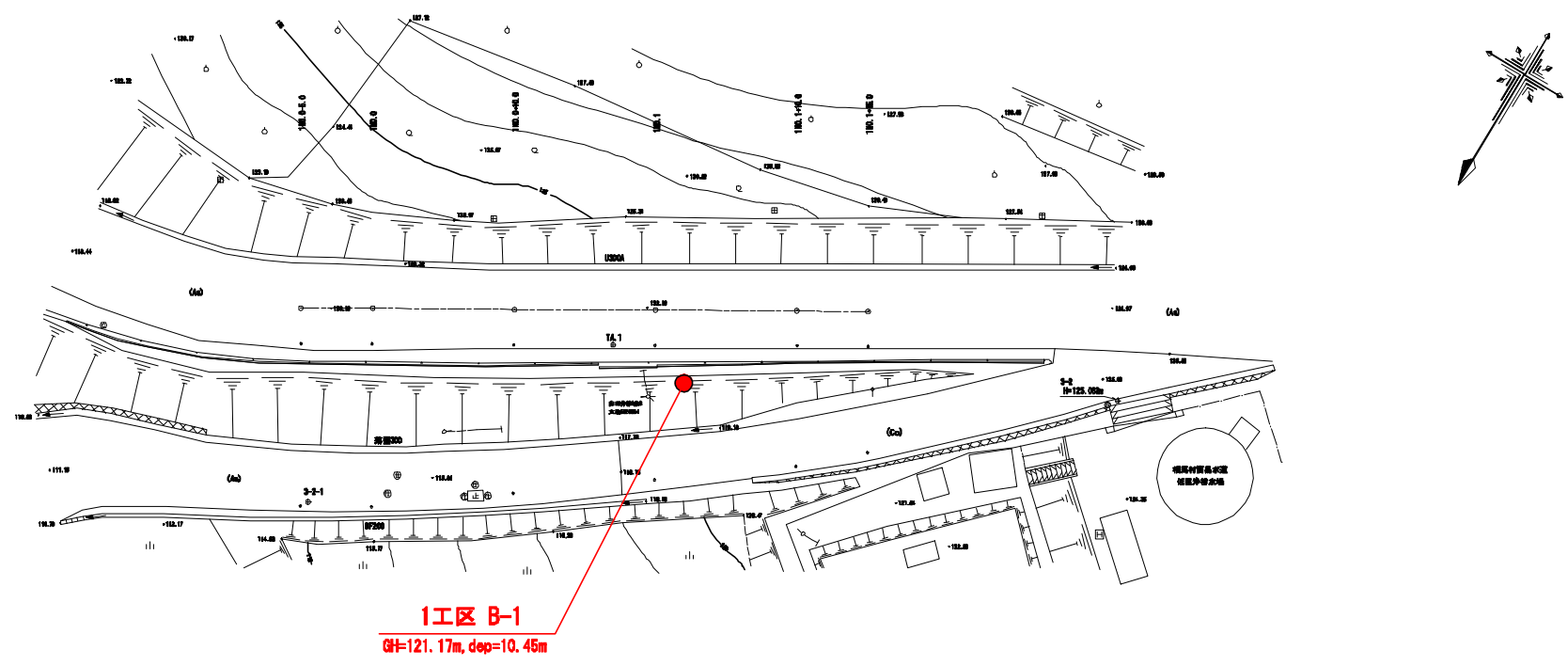


図1.1.1(1) 1工区調査位置平面図 S=1:500

年度	平成	年度
工事名		
路線名	竜ヶ平線 (2工区)	
施工箇所	弘前市大字相馬字竜ヶ平地内	
図面名称	2工区平面図	
縮尺	各図記入	
図面番号	葉	設計

弘前市建設部建設政策課

2工区平面図

S=1:250

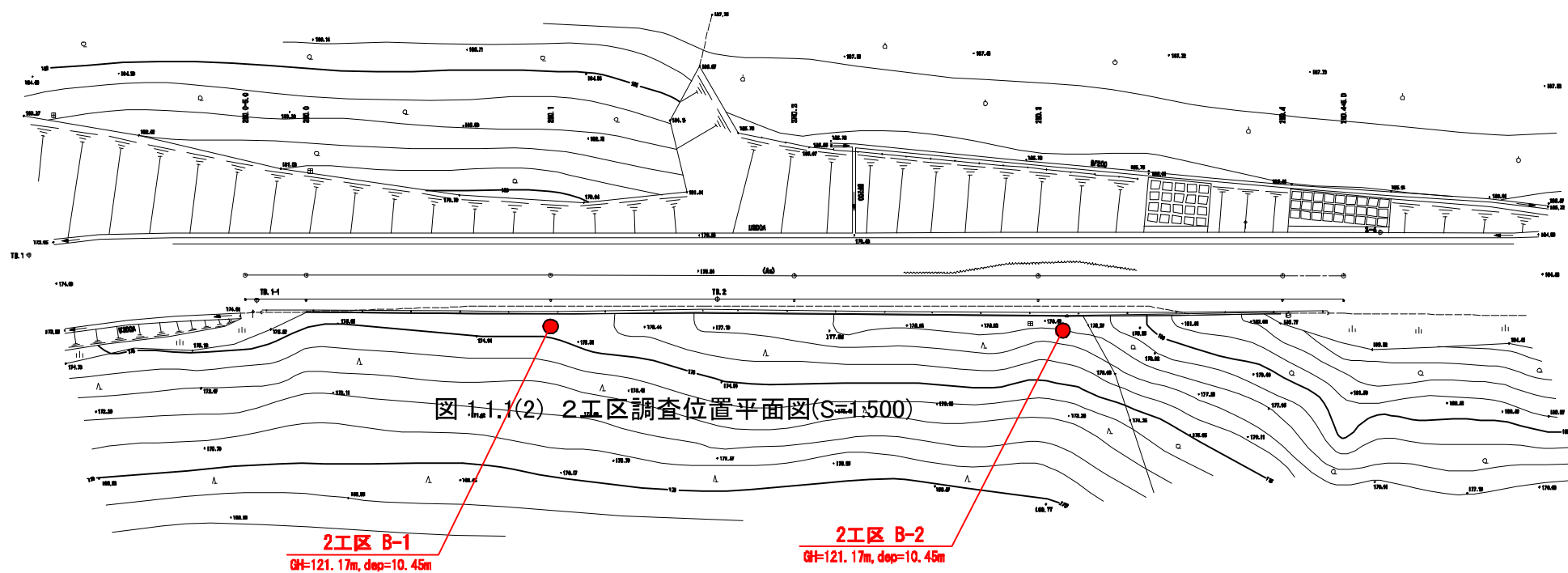


図 1.1.1(2) 2工区調査位置平面図(S=1:500)

図1.1.1(2) 2工区調査位置平面図 S=1:500

ボーリング柱状図

調査名 平成27年度 竜ヶ平線道路整備測量・設計・地質調査業務

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	2工区 B-2		調査位置	青森県弘前市大字相馬地内			北緯	40° 33' 25.24"									
発注機関	弘前市 建設部 建設政策課			調査期間	平成 27年 9月 2日 ~ 27年 9月 4日			東経	140° 20' 57.84"								
調査業者名	株式会社 青林建設コンサルタント 電話 (0172-36-6173)		主任技師	早川 林 蔵		現場代理人	佐藤 健	コア鑑定者	下山 豊臣		ボーリング責任者	下山 豊臣					
孔口標高	GH=178.21m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	利根 T-100		ハンマー落下用具	半自動	
総掘進長	10.45m		度			向			エンジン	ヤンマー F90V-E		ポンプ	利根 NP-40				

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試料採取	室内試験	掘進
176.71	1.50	1.50	盛土(礫混じり粘性土)	暗褐色	非常に軟らかい	0.00~0.30mまで有機質シルト 含水中位 粘性中位 草根混入 0.30~0.70mまで礫を主体とし、φ20~80mm程度の亜角礫が多い 以深は礫混じり砂質シルト状	9/3 5/10	1.15 1/30 1/30 1.45 1 1 3/30 2.15 1 1 1 3/30 2.45 1 1 1 3/30 3.15 1 1 1 3/30 3.45 2 2 2 6/30 4.15 2 2 2 6/30 4.45 2 3 2 7/30 5.15 2 3 2 7/30 5.45 2 2 2 6/30 6.15 2 2 2 6/30 6.45 2 3 3 8/30 7.15 2 3 3 8/30 7.45 2 3 3 8/30 8.15 2 3 3 8/30 8.45 4 4 7 15/30 9.15 5 7 5 17/30 10.15 5 7 5 17/30 10.45	1 3 3 6 7 6 8 8 15 17				9/2 9/3
174.21	2.50	4.00	砂質シルト	暗褐色 黄褐色	軟らかい	全体に含水中位で粘性やや強い 1.90m付近まで暗褐色で、分解の進んだ有機物を混入 1.90~2.10m間、黄褐色シルト 以深は腐植物を混入が多い 2.50m以深、黄褐色で粘性が強い 所々に砂、小礫を混入する							
169.21	5.00	9.00	礫混じりシルト	黄褐色 黄灰	中位の	全体に含水中位で粘性中位 所々にφ2~40mm程度の亜角礫混入 部分的に砂分を多く混入する 5.00m以深、含水が多くなる 6.00m以深、黄灰色で風化角礫を多く混入し、やや固くなる 6.40m付近に木片を混入する							
167.76	1.45	10.45	粘土質砂礫	黄灰	中位の	全体に含水やや多い 礫はφ2~40mm程度の風化角礫を主体とし、部分的に指圧で割れる マトリクスは粘土質砂で、部分的に粘土分が多い							